

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社一九 和泉センター	階数	地上2F
建設地	大阪府和泉市内田町	構造	S造
用途地域	準工業地域、市街化区域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年5月 予定	評価の実施日	2024年12月17日
敷地面積	18,149 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社 一級建築士事務所 森村 佳浩
建築面積	10,868 m ²	確認日	2024年12月17日
延床面積	17,051 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社 一級建築士事務所 森村 佳浩



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.3 ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 環境負荷 L (0 to 100) vs 環境品質 G (0 to 100). BEE = 1.0 line is shown. A+ region is highlighted in green.	標準計算 ☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆ ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ -46 0 46 92 (kg-CO ₂ /年・m ²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したものです	 Q2 サービス性能 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0 	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.2 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.5
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.6 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.8

3 設計上の配慮事項		
総合 環境に配慮した資源を使い、安全で快適に過ごせる建物を作ろうとしている。	その他 特になし	
Q1 室内環境 適切な照度を計画している。	Q2 サービス性能 内装材には防汚性の高い材料を使用している。	Q3 室外環境(敷地内) 緑化を確保している。
LR1 エネルギー BEI=0.00	LR2 資源・マテリアル リサイクル材を用いている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率=-19%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称)株式会社一九 和泉センター新築工事							
建設地		大阪府和泉市内田町							
用途／区分		工場 事務所							
【評価結果】	CASBEE 総合評価							B+	
①	CO2削減							5	
②	みどり・ヒート アイランド対策							3	
③	断熱性能							1	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外					評価対象外	
④	エネルギー消費性能							5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外					評価対象外	
		非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分						6	
⑤	自然エネルギー直接利用							—	
	再生可能エネルギー	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—		—
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—
	エネルギー消費量の報告							報告しない	
【評価項目】									
項目	評価内容						スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮						5.0	5	
② みどり・ヒートアイランド対策									
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出						2.0	3	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上						3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2. 2 温熱環境悪化の改善						3.0		
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制						1.0	1	
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化						5.0	5	
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用						3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。						報告する 報告しない	報告しない	
その他									
先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項					
特に配慮した事項									